

とうきょう すくわくプログラム実践報告書

所在	東京都板橋区小豆沢 2-19-8
園名	ミアヘルサ保育園ひびきあずさわ

1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然・栽培

<テーマの設定理由>

広く、日当たりの良い園庭を活かし、植物の栽培を通して「雨の恵み」「太陽の恵み」を肌で感じる。自然との触れ合いを通して、命の大切さや感謝の気持ちを育む。

2. 活動スケジュール

令和7年6月中旬 土づくり、苗植え
令和7年7月～ 水やり開始
令和7年10月下旬 稲刈り
令和7年11月14日 脱穀・もみすり・試食

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

環境設定としてお米の苗、すきま畑、土、支柱、保護用ネット、ゴルフボール、すり鉢を用意する。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・ 苗植え
- ・ 水やり、観察
- ・ 脱穀
- ・ もみすり

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

- ・ 苗からお米ができる課程を楽しみながら学べるよう声掛けを行った。
- ・ 水やりを通して苗を観察し、「大きくなってきた」「色が変わってきたね」などの変化に気が付き、主体的に関わろうとする姿が見られた。
- ・ 子ども達同士で役割分担をしたり、どうしたら元気に育つのかを話し合う姿が見られ、互いに協力する姿や思いやりのある関わりが自然に生まれていた。
- ・ 苗から栽培することで農家の方の大変さを理解し、食物の有難みを感じられた。
- ・ 自分たちで作ったものを食べることで達成する喜びを体感した。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

子ども達は水やりから収穫までの一連の過程を体験し、日々の観察や世話を通して植物の生長や自然環境への関心を深める機会となった。生長過程を継続的に観察し、変化に自ら気づくことで、日々の小さな変化に気づく観察力や、自然への興味・関心が育まれたように思う。収穫後に実際に食べる体験をしたことで、「自分たちで育てたお米」という実感が生まれ、食への関心や感謝の気持ちを持つ姿が見られた。今後も子ども達の気づきや学びを大切にしながら、体験を通した活動の充実に努めていきたい。